



の、大阪は大きな被害もなく、れいんぼーも通常通り営業を継続することができ、ほっとしました。

また、ハロウィンパーティーやクリスマス会など、ワクワクするイベントシーズンを前に、忙しく準備を進めています。今年はイベントの日に来れない子たちにも楽しんで貰えるよう、工夫をしたいと考えています。



10月1日より新体制となりましたが、これまで同様、おひとりおひとりと丁寧に関わり、ご支援できるように努めて参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今号では9月の活動の様子をお届けします。ぜひお楽しみください。

## 9月の取り組みについて

9月の研修参加は、「ことば・コミュニケーションの発達について」で、3歳頃までのことばの発達や、コミュニケーションを豊かにするための工夫について学びました。また、これまで研修機会の少なかったアルバイト職員が、強度行動障害支援者養成研修に参加し、事業所全体の支援スキルのレベルアップに取り組みました。

さらに、指導室のおもちゃ箱の視認性を高めるため、読みやすいフォントや、わかりやすい写真を使うなど分類やラベルの表示を一新し、見つけやすく片付けやすい環境整備を行いました。

10月からは他県の事業所との定期的な交流が始まります。さまざまな実例を学び、日々の支援に活かしてゆきたいと考えています。

## 9月のお誕生日会



9月27日(火)に、9月のお誕生日会を開催し、9月生まれのお友達のうちの、おひとりを囲んでお祝いをしました。

主役の子は、れいんぼーでのお誕生日会も4回目を数え、毎週お会いしているとあまり実感がないものの、お誕生日のフォトブックの写真を選んでいると、成長ぶりに驚かされ、嬉しくなります。

ケーキでお祝いした後は、輪ゴムを使った「ま」と当てゲーム」で盛り上がりました。ポケモンのキャラクターの絵が描かれた的を並べ、紙パックで作った銃に輪ゴムをかけて狙いを定めて撃ち、ポケモンを倒してゲットするというゲームは、簡単なようでなかなか難しく、みんな夢中で挑戦しました。





### 9月の活動プログラムより

9月の**工作プログラム**は、ミニアクアリウムを作りました。小さなガラス容器の底に、ゼオライトとレジン液で海底を作って硬化し、さらに海藻に見立てたドライモスや魚のシールを貼った透明シートを入れてハーバリウムオイルを注ぎ、海の中の世界を再現しました。海藻をピンセットで容器の中に配置するのがやや難しかったのですが、真剣に取り組み、素敵な作品に仕上がりました。

**料理プログラム**では、レンジでわらびもちに挑戦しました。火を使わず、電子レンジで加熱しては混ぜる、というのを4回繰り返す根気のある作業でしたが、みんな最後までしっかり取り組みました。粉を袋から出すときに、こぼれないよう袋を静かに振ったり、最後の水切りが上手だったり、作業のスキルも上達していて驚きました。

**英語プログラム**では、「手(hand)」や「足(foot)」などの身体の部分の絵カードを壁に貼り、吸盤ボールを投げて、当たった絵カードの場所を自分の身体でさわって「痛い！(ouch!)」と言う、英語で身体まと当てという遊びを楽しみました。痛そうに床に倒れる迫真の演技が、みんなの笑いを誘いました。

**音楽プログラム**は、ジャンボサイコロを転がした目の数のカードをめくり、そこに書かれたお月見にちなんだ曲を聴いて、知っている曲だったかなど感想を伝え合いました。

**ドラムレッスン**は、初めてレッスンを受ける子、スキルアップできる子、とそれぞれのレベルに合わせた異なるメニューでの**個別レッスン**を行いました。

**運動プログラム・ゲーム大会**では、ウェ이터競争やスプーンリレーなど、バランスを取りながら歩くゲームに加え、ピンポンカップインやモジャボールトスなど、的当てや玉入れの要素を楽しみながら、腕や指先を使ってボールを投げる距離や角度を調整する活動をしました。また、新たに登場したタイルじゃんけんでは、先生と子ども達全員でじゃんけんをして、先生に勝った子は四角い色紙をもらい、台紙にタイルのように貼って埋めてゆきました。

